

2

第2章 整備対象地域と整備の方向性について.....

- 1) 整備課題の抽出 2-1-1
- 2) 整備課題図 2-2-1
- 3) 課題解決のための考え方 2-3-1
- 4) まちなか整備目標と基本方針の設定 2-4-1
- 5) 駅周辺整備の方向性 2-5-1
- 6) まちなか整備骨格図 2-6-1
- 7) 整備対象地区 2-7-1

第2章では、全体構想でまとめた考え方を示し、基本計画の基となる駅周辺整備の方向性を「4）まちなか整備目標と基本方針の設定」で、具体的な整備対象地区（基本計画の範囲）を「7）整備対象地区」で示します。

(2) JR肥前鹿島駅周辺まちづくりのための保全/改善/補足要素の抽出

・地区現況及び市民ヒアリング調査、駅利用者アンケート調査等の結果を踏まえて、JR肥前鹿島駅周辺地区の抱えるまちづくりの課題を以下のように整理しました。

課題抽出の視点	整備課題
まちづくりのために改善すべき要素 (改善要素)	<p>【広域的課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 九州新幹線西九州ルート開業によって懸念される長崎本線(肥前山口～肥前大浦)沿線における賑わいの喪失や活力の低下 分散型の県土内において、各都市や物流拠点、観光拠点等を結ぶ“有明海沿岸道路”等の交通ネットワークの強化および公共交通の再編 等
	<p>【市域的課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内に点在する「肥前鹿島駅」「鹿島城址」「シビックコア」「肥前浜宿伝統的町並み」「祐徳稲荷神社」等の各ゾーン相互の連携や情報発信力の不足 中心市街地における空地、空き店舗の増加
	<p>【地域的課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域内に埋もれている歴史的文化的資産等の掘り起こしの不足 肥前鹿島駅における朝夕の送迎車両の交錯と通過(通り抜け)交通による危険性の増加 夜間も含む肥前鹿島駅前空間における安全かつ快適な歩行者・自転車通行空間の確保、充実 通勤、通学のための駅利用者の安全性の確保 駅前空間からスカイロードへ繋がる中心市街地との連携強化
まちづくりのために大切にすべき要素 (保全要素)	<p>【広域的課題】(「佐賀県総合計画(2019)」からの課題抽出、以下同様)</p> <ul style="list-style-type: none"> 九州新幹線西九州ルート開業による交流拡大効果の波及および地域を支える鉄道の利便性の確保 鹿島市および周辺市町村間における幹線道路ネットワーク整備による多様な移動手段の確保と公共交通の持続性 ラムサール条約に登録された県内「東よか干潟」「肥前鹿島干潟」および「荒尾干潟(熊本県)」等、有明海周辺の自然環境、生態系の保全再生 等
	<p>【市域的課題】(「第7次鹿島市総合計画」および市民ヒアリング等からの課題抽出、以下同様)</p> <ul style="list-style-type: none"> 昭和5年開業当時の姿を留める肥前鹿島駅舎について、市内に現存(昭和5年開業)する肥前浜駅舎、肥前七浦駅舎との一体的な保全、利活用 多くの市民が集う「鹿島おどり」をはじめとして年間を通じて開催されている祭りや伝統行事等の継承 まち(肥前鹿島駅)の背景にもなっている多良岳山系の山並みとラムサール条約に登録された肥前鹿島干潟(有明海)等の豊かな自然環境と生態系の保全 等
	<p>【地域的課題】(「第7次鹿島市総合計画」および市民ヒアリング等からの課題抽出、以下同様)</p> <ul style="list-style-type: none"> 旧城下町～近世に至る重層的なまちの変遷等を示す(町割り、歴史のみちすじ、水路網等の遺構や有明海干拓の歴史文化、鉄道遺産等)の保全 「スカイテラスチャレンジ」等の新たなイベント等とそれらの開催を支える地域の人々の活動 等
まちづくりのために新たに創り出すべき要素 (補足要素)	<p>【広域的課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 九州新幹線西九州ルート開業による長崎本線(肥前山口～肥前大浦)の上下分離方式による運行後の交流拡大の機会および地域を支える鉄道の柔軟な運行促進 地域住民による地域資源を活用した自発的かつ主体的な地域づくりの支援と若い世代が活動等を担っていく仕組みづくりおよび支援 等 交流人口、関係人口等の増加 等
	<p>【市域的課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 鹿島市のイメージを高める特産品、イベントPR等の促進 魅力ある観光地域づくりの推進
	<p>【地域的課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 通過点となってしまっている駅前空間の魅力づくり(待合空間の充実、案内サインの整備、人々が集い憩える広場整備やイベントの開催等) 中心市街地内のにぎわい、活力、魅力および地区内の拠点施設と肥前鹿島駅前との連携等 効果的な鹿島市営駐車場、駅前駐車場の利用促進 駅周辺における未利用地等の活用 駅前空間からの市内観光拠点への移動手段(レンタサイクル等)の充実および観光案内等の情報発信の促進 (駅直近に存在するラムサール条約(肥前鹿島干潟)へのアクセスや情報発信および駅前空間との連携) 中心市街地における人々の憩いの場、集いの場となる広場等の再生 等 駅東側とのつながり創出

(全体構想再掲)

(2) 市域レベルの整備課題図

- ・ 課題整備を「市域レベル」から整備課題図として整理しました。

まちづくりのために改善すべき要素 (改善要素)

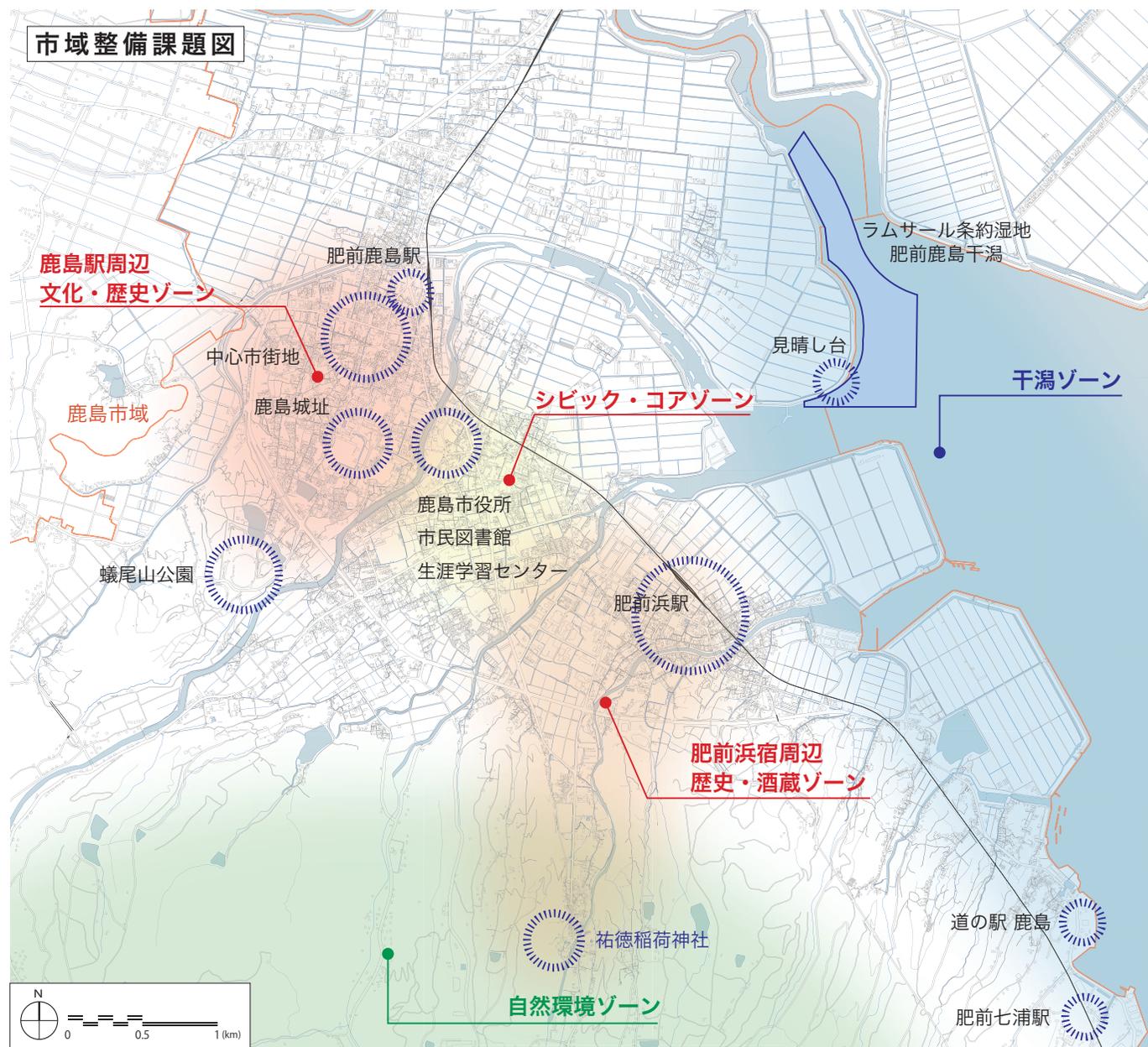
- ・ 市内に点在する「肥前鹿島駅」「鹿島城址」「シビックコア」「肥前浜宿伝統的町並み」「祐徳稲荷神社」等の各ゾーン相互の連携や情報発信力の不足
- ・ 中心市街地における空地、空き店舗の増加

まちづくりのために大切にすべき要素 (保全要素)

- ・ 昭和5年開業当時の姿を留める肥前鹿島駅舎について、市内に現存する肥前浜駅舎(昭和5年開業)、肥前七浦駅舎(昭和9年開業)との一体的な保全、利活用
- ・ 多くの市民が集う「鹿島おどり」を始めとして年間を通じて開催されている祭りや伝統行事等の継承
- ・ まち(肥前鹿島駅)の背景にもなっている多良岳山系の山並みとラムサール条約に登録された肥前鹿島干潟(有明海)等の豊かな自然環境と生態系の保全 等

まちづくりのために新たに創り出すべき要素 (補足要素)

- ・ 鹿島市のイメージを高める特産品、イベントPR等の促進
- ・ 魅力ある観光地域づくりの推進



(3) 地域レベルの整備課題図

・課題整備を「地域レベル」から整備課題図として整理しました。

まちづくりのために改善すべき要素 (改善要素)

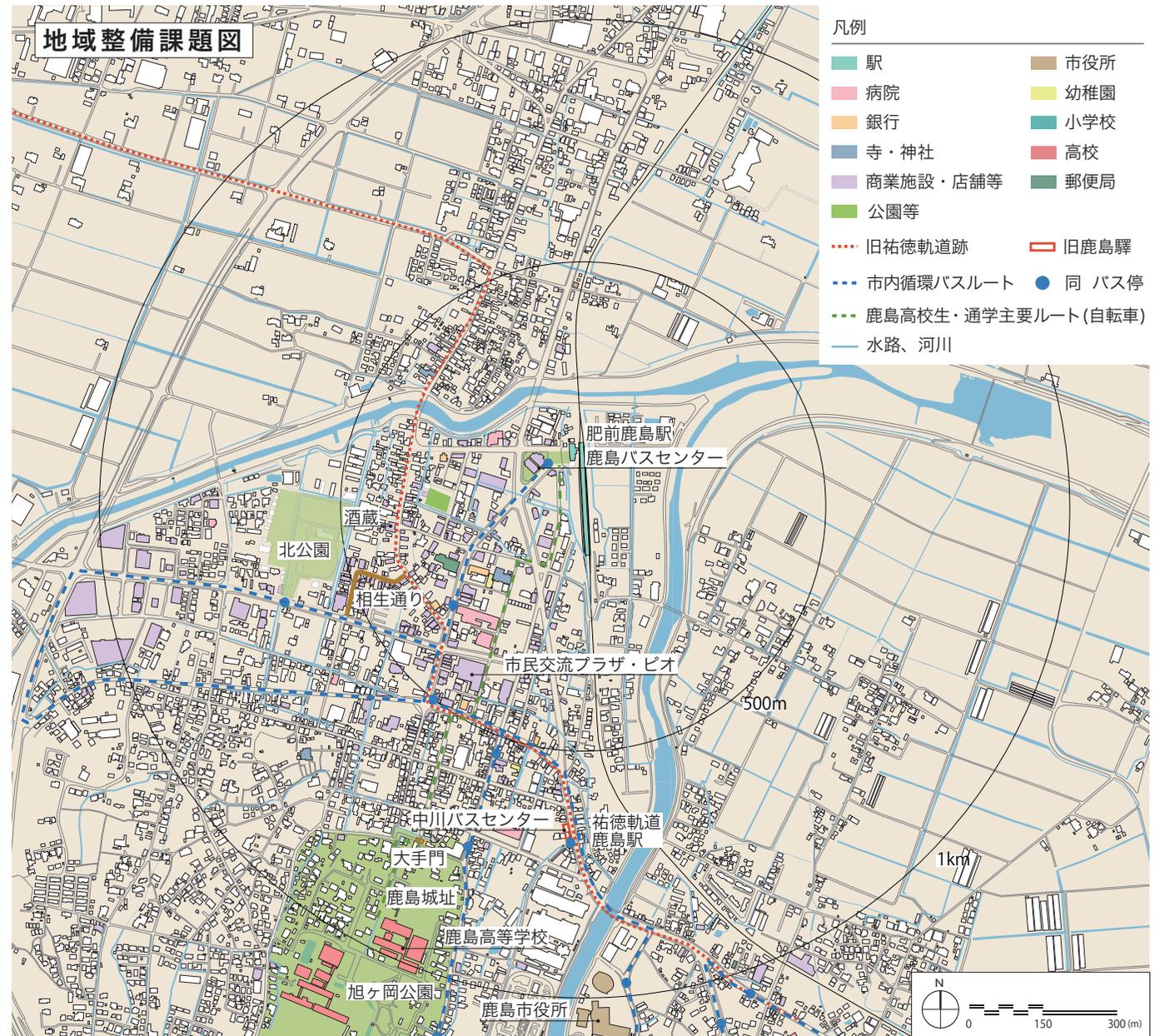
- ・地域内に埋もれている歴史的文化的資産等の掘り起こしの不足
- ・肥前鹿島駅前における朝夕の送迎車両の交錯と通過(通り抜け)交通による危険性の増加
- ・夜間も含む肥前鹿島駅前空間における安全かつ快適な歩行者・自転車通行空間の確保、充実
- ・通勤、通学のための駅利用者の安全性の確保
- ・駅前空間からスカイロードへ繋がる中心市街地との連携強化

まちづくりのために大切にすべき要素 (保全要素)

- ・旧城下町～近世に至る重層的なまちの変遷等を示す(町割り、歴史のみちすじ、水路網等の遺構や有明海干拓の歴史文化、鉄道遺産等)の保全
- ・「スカイテラスチャレンジ」等の新たなイベント等とそれらの開催を支える地域の人々の活動 等

まちづくりのために新たに創り出すべき要素 (補足要素)

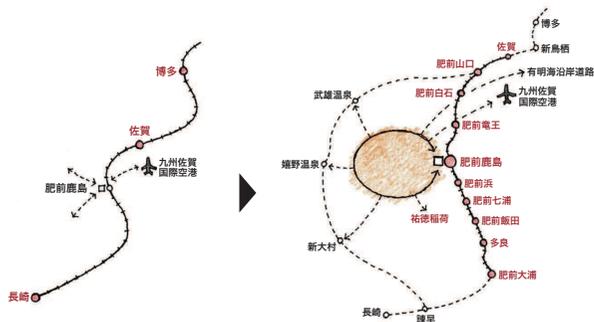
- ・通過点となってしまっている駅前空間の魅力づくり(待合空間の充実、案内サインの整備、人々が集い憩える広場整備やイベントの開催 等)
- ・中心市街地内のにぎわい、活力、魅力および地区内の拠点施設と肥前鹿島駅前との連携 等
- ・効果的な市営の中央駐車場、駅前駐車場の利用促進
- ・駅周辺における未利用地等の活用
- ・駅前空間からの市内観光拠点への移動手段(レンタサイクル等)の充実および観光案内等の情報発信の促進(駅直近に存在するラムサール条約(肥前鹿島干潟)へのアクセスや情報発信および駅前空間との連携)
- ・中心市街地における人々の憩いの場、集いの場となる広場等の再生 等
- ・駅東側とのつながり創出



3) 課題解決のための考え方

課題への対応の考え方(広域レベル) 1

鉄道を中心とした交通結節点を強化し、
“まちの交流循環拠点”への転換

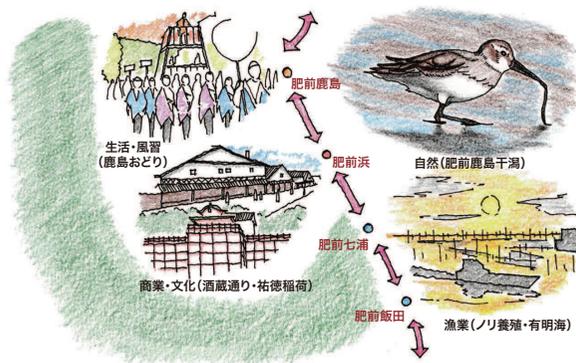


広域レベルの視点では、西九州新幹線開業によって懸念される長崎本線(肥前山口～諫早)沿線の賑わいの喪失や活力低下を転機と捉え、鉄道を中心とした交通結節点の連なりだった周辺地域との関係を公共交通による「地域間相互交流」の循環強化によって充実させていきます。また、新幹線利用者を鹿島に引き込むことや、有明海沿岸道路を活かした九州各県や飛行機利用者による大都市圏等との循環を促していくことが重要となります。

そのためには、県レベルでの広域的なバックアップやサポート等と共に、周辺市町村における公共交通施策等との連携の強化充実を図っていくことが望まれます。

課題への対応の考え方(市域レベル) 2

豊かな暮らしや風景を感じられる、
“まちの玄関口としての肥前鹿島駅”への転換

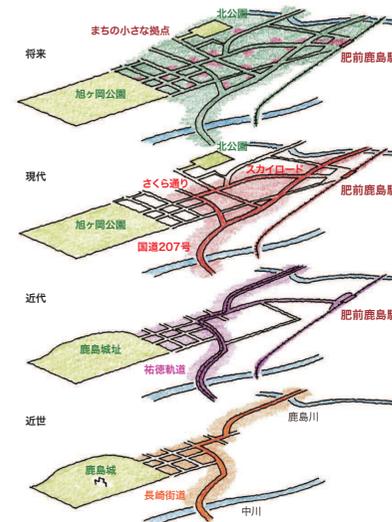


市域レベルの視点では、市内に点在する観光拠点である自然環境ゾーンや肥前浜宿周辺歴史・酒蔵ゾーンと公共施設や商業を中心としたシビック・コアゾーンおよび鹿島駅周辺文化・歴史ゾーン等の相互連携が弱い状況にあります。一方で、豊かな有明海や自然や恵みを象徴するラムサール条約湿地の肥前鹿島干潟も含め、「まちの玄関口」である肥前鹿島駅周辺(中心市街地)を中心とした各ゾーンとの連携と循環を強化・充実させ、市域全体での交流・共創を促していくことが重要となります。

そのためには、各地域における住民のみならず、鹿島市市内の横断的な取り組みを活発化させ、市全体の魅力度やイメージアップ並びにPR等をさらに促進していくことが望まれます。

課題への対応の考え方(地域レベル) 3

歴史と文化を活かし“賑わいあふれ、人にやさしい
駅周辺まちづくり”への転換



地域レベルの視点では、地域内にまだ埋もれている歴史的な文化資産や人材等を掘り起こすと共に、地区の魅力や安全性等を高めつつ、人にやさしい暮らしを向上させていくことと中心市街地としての賑わいや活力を再生していくこととの共生のバランスを図りながら、公・民・産・学の連携によって共創していくことが重要となります。

そして、広域や市域レベルでの人の流れを促し、そこから地域レベルの人の流れを生み出すための新たな取り組みが肥前鹿島の「駅周辺まちづくり」となります。

本整備構想において、広域レベルおよび市域レベルでの課題解決のための方向性を踏まえた上で、重点的な整備を推進していく「JR肥前鹿島駅周辺地区」を対象とし、目指すべき地域整備の方向性を明確化し、具体的に整備プログラム等を検討していくものとします。

4) まちなか整備目標と基本方針の設定

「環境・交流循環拠点づくり」の考え方

課題への対応の3つの方向性でも示したように、「JR 肥前鹿島駅周辺地区」はこれまでの交通結節の場所から“交流循環”の拠点へ、また多良岳山系から市内の平野、さらには肥前鹿島干潟や有明海を結ぶ“環境循環”の拠点となっていくことが望まれます。

交流循環の拠点では、主役は市民や来訪者です。駅周辺地区での交流を目的とした、ゆっくり・のんびりと過ごしてもらおう空間づくりを目指します。駅周辺地区には市民や来訪者の交流を生み出す施設や広場機能を有し、スカイロードやさくら通りともハード面だけではなく活用によってつながることで(ex. スカイトラスチャレンジ)、人の循環を生み出していきます。北公園や旭ヶ岡公園などの広場、まちかどのポケットパーク、水の豊かさを象徴する水路なども中心部のそぞろ歩きを促す要素として活かしていきます。

環境循環の拠点では、駅周辺地区が多良岳山系から水田の平野と有明海の干潟に繋がる山と海の接点に位置していることが重要です。世界でも希有な干潟が山から運ばれた泥質の土と有明海の大きな干満差によってできていることを、山と海の環境が変わる場所にある駅周辺地区では同時に体感することができます。また、身近に水路などがある鹿島では、私たちの暮らしが大きな水循環の一部であることを教えてください。このように、駅周辺地区は鹿島の豊かな自然を多面的に感じることができる、環境循環の拠点としてふさわしい場所にあると考えます。

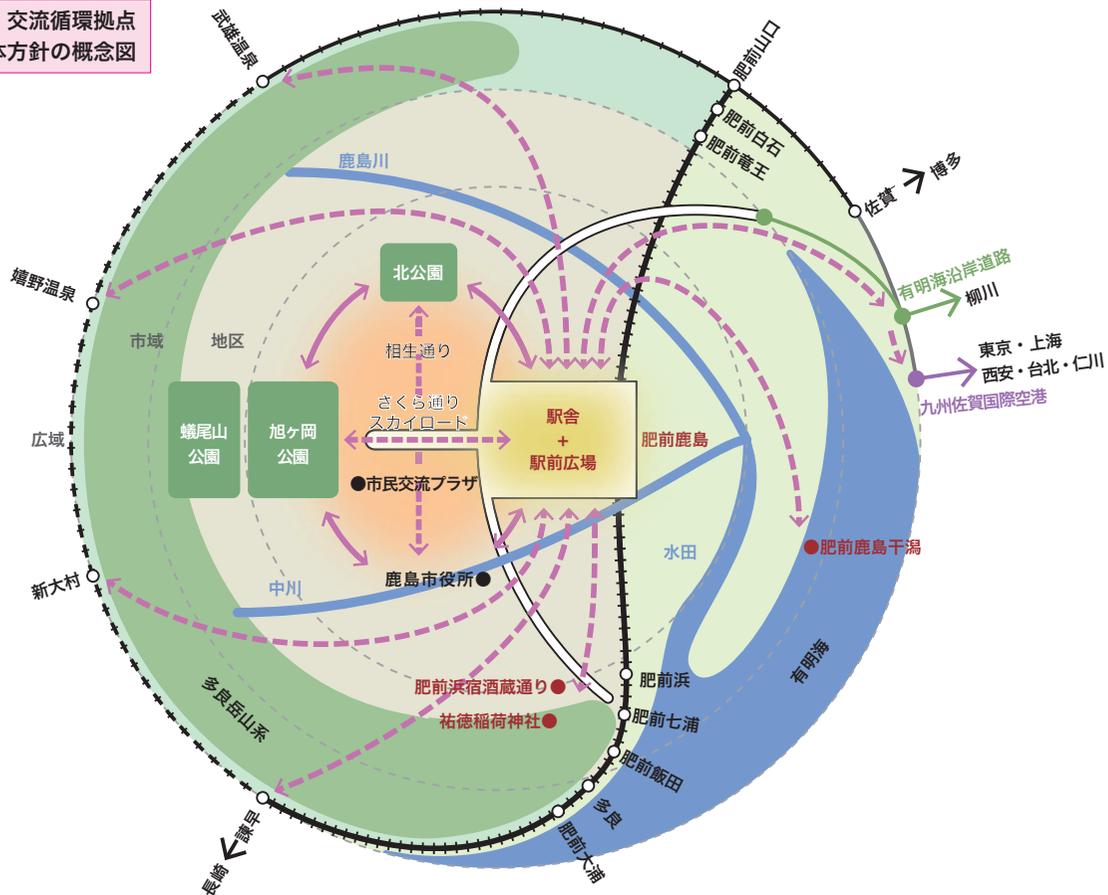
「JR 肥前鹿島駅周辺まちづくり」は、交流循環を促すことで人がつながり、環境循環を考えることで私たちの暮らしをもっと知っていくことを目指し、以下のようにテーマ(コンセプト)を設定します。

JR 肥前鹿島駅周辺まちづくりのテーマ(コンセプト)

「人と自然がつながる 私たちの“まちの駅”」

- ・地域を守り、磨き、新たに加えて積み上げていくまちづくりの姿勢が、鹿島に暮らし、鹿島を訪れる魅力の源となっています。
- ・駅は通勤通学の交通結節点であるとともに、暮らしの拠点であり、文化の拠点です。鹿島に暮らす人、訪れる人が憩い集う交流の場となることが期待されています。
- ・また、スカイロードとの繋がりを強化充実させていくことで、中心市街地の活力再生にも波及させ、持続性の高い、鹿島ならではの積み上げ方(プロセスとアプローチ)によって「まちの駅」づくりを、市民の力で共に創りだしていきます。

環境・交流循環拠点
全体方針の概念図



5) 駅周辺整備の方向性

・ まちなかレベルのまちづくりのテーマ（コンセプト）とまちなか整備目標は以下のとおり

・ 駅周辺レベルにおける整備の方向性は以下のとおり

■ JR 肥前鹿島駅周辺まちづくりの基本となる柱

JR 肥前鹿島駅周辺まちづくりのテーマ（コンセプト）：

「人と自然がつながる 私たちの“まちの駅”」

- ・ 地域を守り、磨き、新たに加えて積み上げていくまちづくりの姿勢が、鹿島に暮らし、鹿島を訪れる魅力の源となっています。
- ・ 駅は通勤通学の交通結節点であるとともに、暮らしの拠点であり、文化の拠点です。鹿島に暮らす人、訪れる人が憩い集う交流の場となることが期待されています。
- ・ また、スカイロードとの繋がりを強化充実させていくことで、中心市街地の活力再生にも波及させ、持続性の高い、鹿島ならではの積み上げ方（プロセスとアプローチ）によって「まちの駅」づくりを、市民の力で共に創りだしていきます。

整備目標 1・

鉄道を中心とした交通結節点を強化し“まちの交流循環拠点へ”

- ・ 単なる交通結節点としての駅から駅周辺および周辺都市を含めた連携・回遊の中心となることで、まちの交流が広く循環する拠点となることをめざしていきます。

整備目標 2・

豊かな暮らしや風景を感じられる“まちの玄関口としての肥前鹿島駅へ”

- ・ 肥前鹿島駅は、在住者や来訪者にとってのまちの玄関口として、周辺に点在する豊かな資源や活動等の情報を提供する場所として機能させていきます。

整備目標 3・

歴史と文化を活かし“賑わいあふれ、人にやさしい駅周辺まちづくりへ”

- ・ 肥前鹿島駅を含む中心市街地には、歴史と文化が重層するエリアでもあります。これらの資産を継承しつつ、まちなかに点在する“ネットワーク拠点”を連携させて駅との一体的なまちづくりを市民・行政・事業者の共創によって推進していきます。

■ JR 肥前鹿島駅周辺整備の方向性

【訪れる人が降り立った瞬間に、「鹿島らしさ」を感じられる駅】

- ・ 祐徳稲荷神社や酒蔵、面浮立等の伝統的な美しさが際立つ文化をはじめ、豊かな農林水産物等、世界から人を引きつける魅力ある鹿島市。
- ・ 魅力を磨き上げ、世界へ発信する視点を大切に、訪れる人が降り立った瞬間に「鹿島らしさ」を感じられる、唯一無二の駅周辺整備にこだわっていきます。

【県南西部の玄関口として、国内外から多くの人を訪れる駅】

- ・ 肥前鹿島駅は県南西部の玄関口として、広域的な交流の拠点であり、顔となる駅です。
- ・ 鹿島をはじめ、周辺エリアの魅力的な地域資源を目指して、国内外から多くのお客様が訪れています。
- ・ 鉄道を中心としながら、九州佐賀国際空港や、武雄温泉駅、嬉野温泉駅等、バスやタクシー等の公共交通でつながる広域交流拠点として、多くの人を訪れる駅周辺整備に取り組んでいきます。

【市民自らが主体的に利活用し、魅力を発信する拠点としての駅】

- ・ 伝統文化を大切にしながら、市民同士の結びつきが強く、田澤義舗をはじめ多くの人材を輩出してきた、人が育つ鹿島市。
- ・ 鹿島おどりや鹿島ガタリンピック、鹿島酒蔵ツーリズムなど、鹿島市の人々は地域資源を活かししながら、常に新しい価値を生み出してきました。これからの市民の暮らし、活躍の拠点として、新たな駅周辺の創出に取り組んでいきます。

（全体構想再掲、右半分追加）

6) まちなか整備骨格図

(1) まちなか整備の骨格 (自然環境、歴史的文化的資産等・交通コントロール・生活環境の向上等)

<まちなか整備の骨格・1>

【自然環境、歴史的文化的資産等の保全活用に向けたまちなか骨格図】

- ・まちの背景となっている山並み・(干拓地)肥前鹿島干潟
- ・整備対象地区内に点在する歴史的文化的資産等
(旧鹿島城縄張り、町割り、(老舗)町家、旧長崎街道と道すじ、水路、祐徳軌道(旧駅)、碑(オンガミサマ等)、寺社等)
- ・駅前→肥前鹿島干潟への散策ルート等

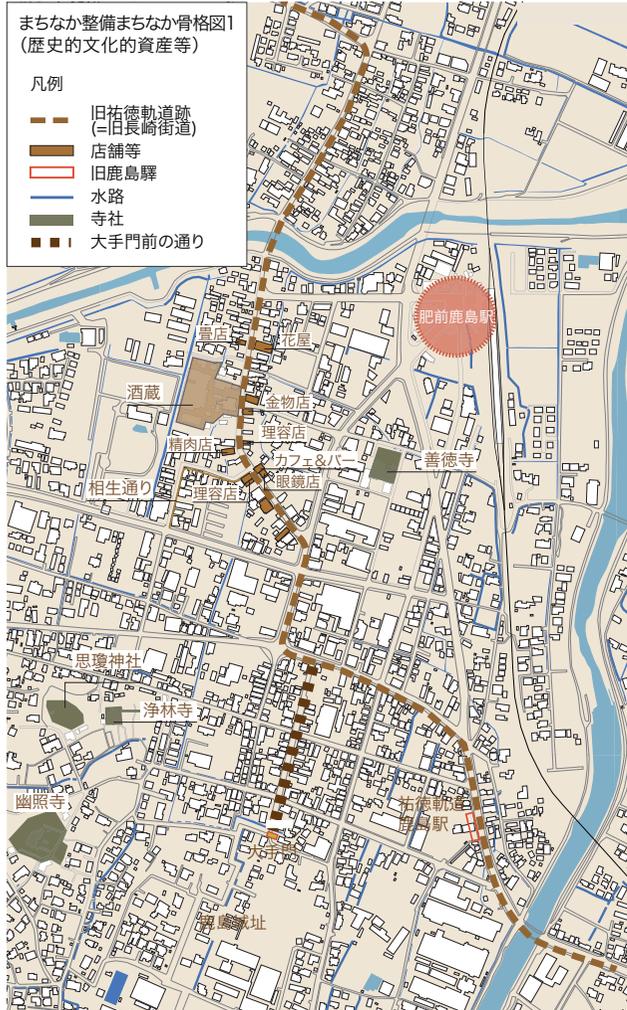


図-1 <まちなか整備の骨格・1>

<まちなか整備の骨格・2>

【快適で安全な駅前交通のコントロール形成に向けたまちなか骨格図】

- ・肥前鹿島駅前空間
- ・駅～中心市街地内の主要歩行者ネットワーク
- ・地区内主要道路ネットワーク
- ・コミバス、路線バスルート(バス停)等

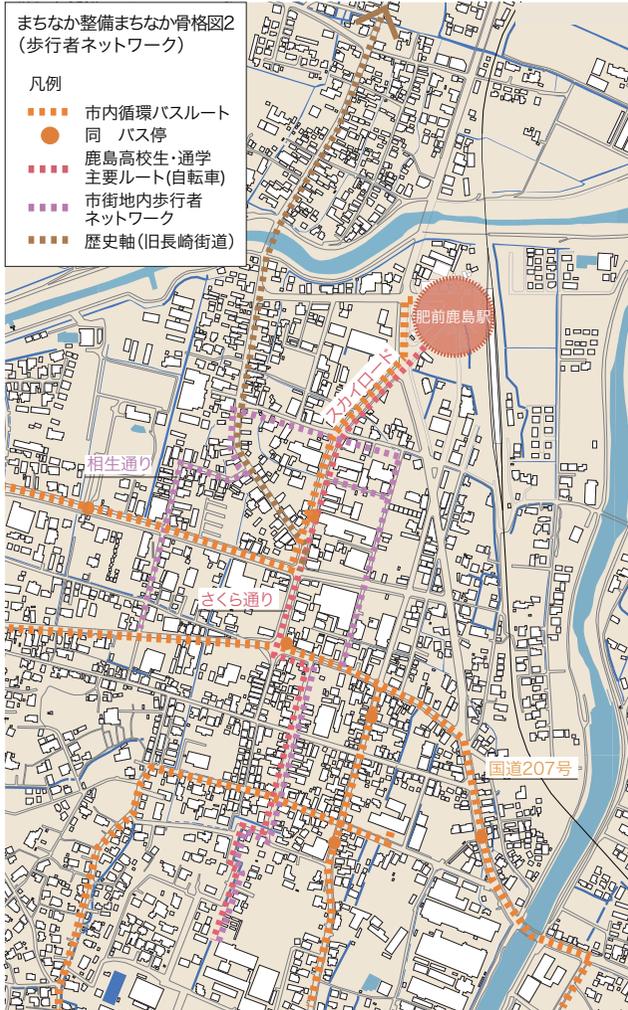


図-2 <まちなか整備の骨格・2>
2-6-1

<まちなか整備の骨格・3>

【地区生活環境の向上および地区内拠点ネットワークの形成に向けたまちなか骨格図】

- ・市民の生活拠点(買い物、通院、ピオ、主要店舗等)
- ・ポケットパーク、北公園
- ・スカイロード
- ・バス停、中川BC、駅前BC、ポケットパーク等
- ・コミュニティバス、路線バスルート(バス停)等

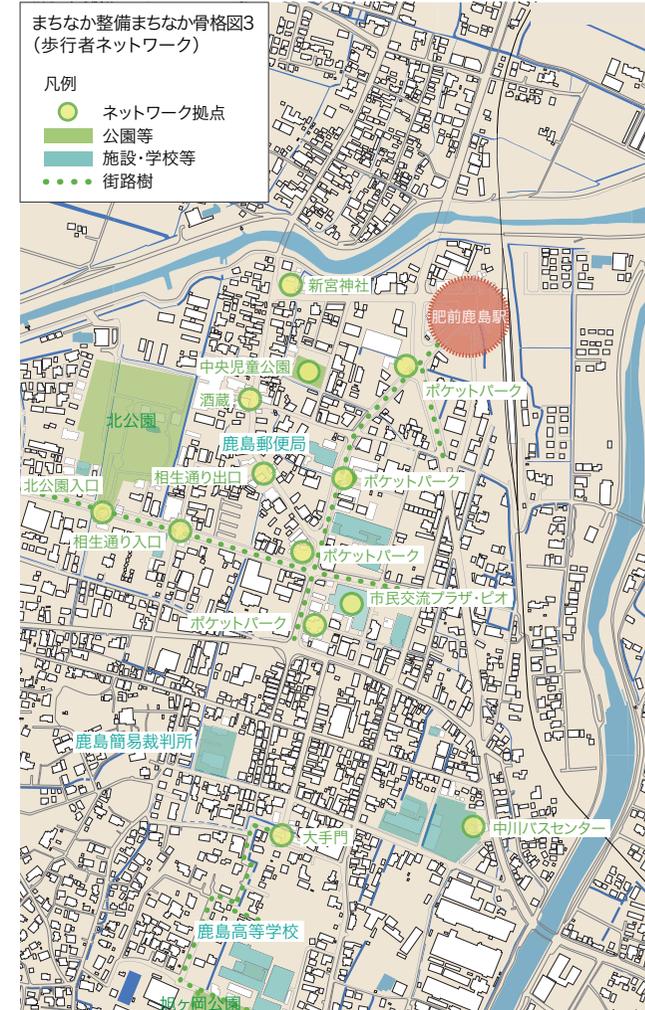


図-3 <まちなか整備の骨格・3>

(全体構想再掲)

(2) まちなか整備の骨格（統合）

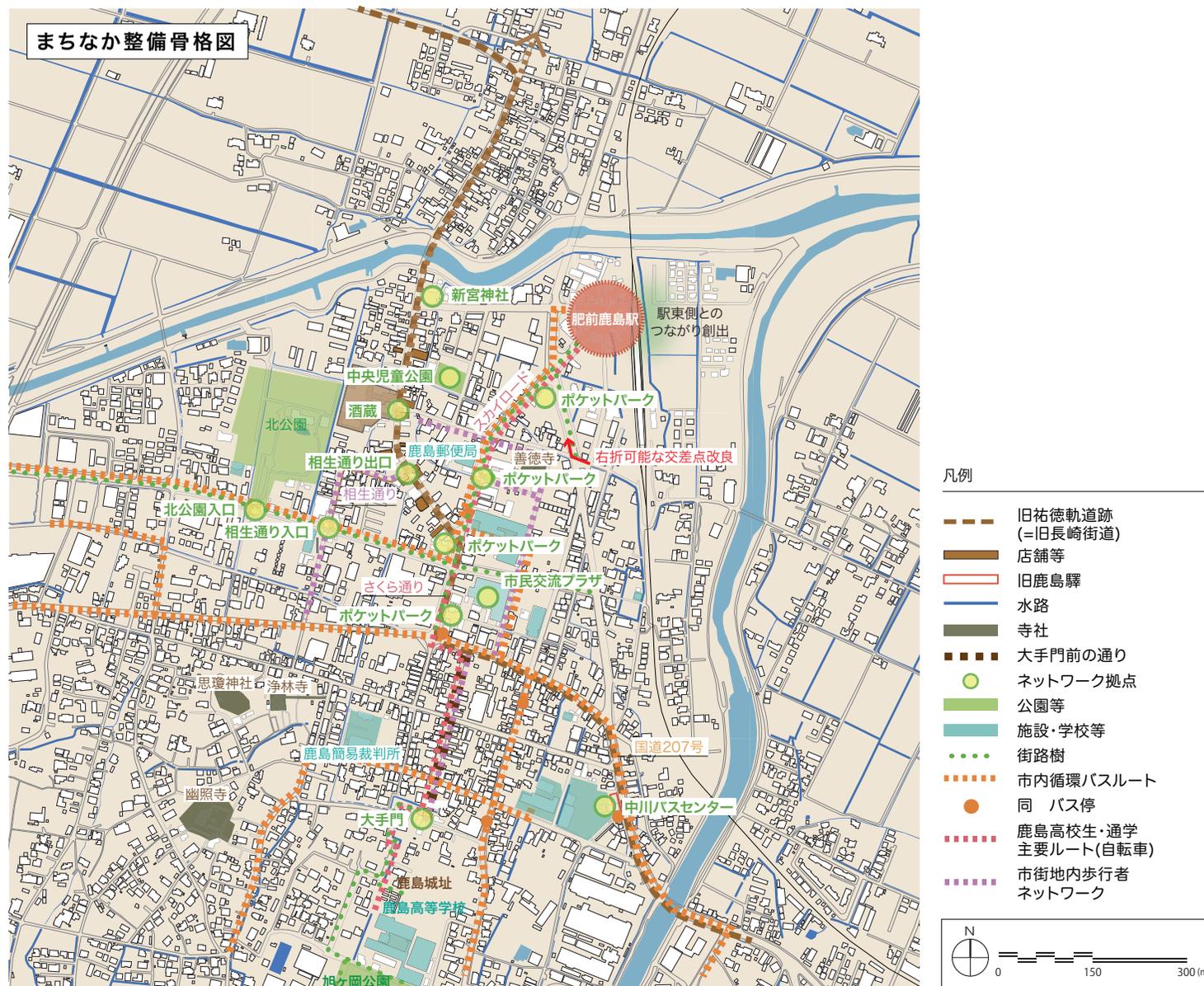
まちなか整備にあたっての3つの骨格として整理したまちなか骨格図を重ね合わせ「まちなか整備骨格図」とします。

前述のまちなか整備方針及びまちなか骨格図より、3つの骨格を重ね合わせた右図を見ると、鹿島の中心市街地（まちなかエリア）は肥前鹿島駅、北公園、旭ヶ岡公園の3拠点によって外周が囲まれていることがわかります。中でも肥前鹿島駅は通勤・通学者、来街者の玄関口となるため、より重要な位置付けとなっています。中心市街地と駅を結ぶという意味では、スカイロードが重要となり、駅前広場まで連携していく必要があります。

これら3つの拠点に囲まれたエリアの魅力をもっと高めていくためには、以下の点が重要となります。

- ・点：まちなかに点在している小さな拠点や歴史的文化的資源の発掘及び再整備
- ・線：徒歩や自転車、バスを含めたネットワークの形成
- ・面：点と線がつながっていくことで、地区整備構想エリアとして一体的なエリアを形成

また、これらの実現にあたっては、ハード整備だけではなく、地域住民の活動やイベントなど、ソフト面での取り組みも必要となり、これまでに行われてきた祭事やスカイテラスチャレンジ等の活動とも一層の連携が重要となります。なお、駅東側については、将来的につながりを創出する方法を検討します。



7) 整備対象地区

JR肥前鹿島駅周辺まちづくりの整備対象地区を下図のように設定します。

